

継続事業評価シート

評価確定日 令和元年 6月20日

平成30年度(2年目)

Header table with columns: 事業コード, 事業名, 巡回ヒアリング項目の充実・統一化, 戦略コード, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 商工会名, 担当者名, 鈴木康記, 総轄者名, 菊地功, 施策コード, 施策名, ライフステージに合わせた経営課題解決のための伴走型個社支援の実施

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

本会では、小規模事業者の経営実態把握については巡回訪問活動により、事業所形態・氏名・事業内容・資本金・従業員(専従者)など基本情報等について随時情報を収集してきた。しかし、「何か変わったことや悩みはないか」という受け身の課題抽出に終始し、支援内容の掘り起こしや経営改善に結びつけられなかったケースが多かった。しかし、小規模事業者の経営環境が年々厳しくなり、問題も多様化していることから、既存の基礎支援だけでは経営の持続には不足である。経営力向上に向けた取り組みが出来るよう、個々の現在の経営状況を分析し、経営計画を策定することが喫緊の課題となっている。

2. 事業のねらい

一歩踏み込んだ経営実態等の把握・分析から経営計画策定、アフターフォローによる事業者発展のために、これまで強化してきた巡回訪問を「指導型」から「伴走型」へ転換し、ヒアリング項目の統一化を図り、支援の記録や商工会各種事業の活用状況をデータ整備し、経営分析に活用すること。

3. これまでの評価結果

Table with columns: 過年度, H29, B, H30, H31, H32

経営発達計画の実施についてもリンクする項目であり、評価指標の結果から、職員の支援水準を一定に保つ手段としてヒアリング項目の充実・統一化は有効と評価する。また、伴走型支援に必要な必須ツールとして会員支援に取り組んでいる。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

目標値をクリアしており、継続し、ヒアリング項目を活用した巡回指導を行い、また、経営支援員も対象とした巡回を実施する。

5. 事業内容と実績 達成度:a(事業を完遂した)、b(事業に着手したが未遂行)、c(事業に着手しなかった)

Table with columns: 事業内容, 実績, 達成度. Content includes: ヒアリングテンプレートを作成、職員の経験値の差を補うためのチーム巡回・タブレットPCの活用によるリアルタイム記録。その後の支援展開に活用。これにより巡回指導内容を情報提供から現状分析、現状分析から解決提案へ割合を高めていく。 巡回強化 情報提供⇒現状分析 H30目標 40% 実績 22.7%(H28.28.3%) 現状分析⇒解決提案 20% 105%(H28.16.9%) 達成度 b

6. 評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with columns: 項目, 情報提供 ⇒ 現状分析割合強化, 現状分析 ⇒ 解決提案割合強化, 項目. Includes sub-tables for 年度, 目標, 実績, 達成率, 達成度.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 現状の課題に a(対応している) b(一部対応している) c(対応していない) 達成度 b

〈評価の理由〉

ヒアリング項目の統一化は事業者支援ヒアリングシートを用いている。ヒアリングシートは、事業形態や従業員数、取扱商品等の基本情報から立地、経営課題、ライフステージの区分が記載されており、支援先の事業内容や課題を簡潔に整理することが出来ることから、支援効率が図られた。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 事業内容・評価指標の実績の達成度が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(いずれかがc判定の場合) 達成度 c

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

全体の巡回相談支援に対する現状分析の割合は目標に対して9%(276件/3105件)と低水準となったが、その分、解決提案型支援や、事業者の伴走者としての実行支援を強化したことで、解決提案型支援が21.3%(662件/3105件)、実行支援を含めると30.8%(956件/3105件)となっており、より経営課題等に踏み込んだ支援を行った。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 コスト縮減の取組は a(客観的で効果が高い) b(取り組んでいる) c(取り組んでいない) 達成度 b

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

巡回相談支援の件数は前年度より若干下回ったが、解決提案、実行支援の実施割合が30.8%と目標を超えており、ヒアリングシートを活用することで、巡回相談支援の質や、支援効率が前年度より向上した。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 達成度 B

統一化した項目によるヒアリング(情報収集)後は、窓口指導による机上での分析の実施、その結果を基に経営課題に対する解決提案や、実行支援に繋がったことで、現状分析の割合が低水準で推移したと考えられる。

3. 課題

解決提案・実行支援の割合の向上を目標としている中で、当初計画したアクションプログラムの評価指標にギャップが生じている。次年度は現状分析の割合が向上するように、意識して取り組んでいくが、アクションプログラムの評価指標の見直しも検討する必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

ヒアリングシートを活用し、解決提案・実行支援の割合を40%の達成を優先させながら、巡回時、収集した企業情報について、タブレットを活用した現状分析を実施するなどして、現状分析の割合を高める。また、ヒアリングシート活用による巡回支援を、将来的には職員が誰でも活用できる経営支援のワークフローとして構築し、湖東3町商工会の知的資産が(構造資産、関係資産)承継されることを目指す。